

8. 環境教育

(1) ゾウ糞エコサイクル事業

動物の糞から作った堆肥で野菜を栽培し、動物に給餌することにより、自然界での循環を自らの体験を通して学ぶ。

八木山小学校5年生72名 6月24日 ゾウについての授業後、ゾウ糞と堆肥を比較。ニンジン種まきについて説明。

7月8日 ゾウについて復習後、野生でのゾウの暮らしについて授業、エコサイクルゲーム。

10月11日 明成高等学校と合同授業。ゾウにニンジンをプレゼント。

明成高等学校1年生8名 9月30日 ゾウ糞をコンポストに投入、堆肥作り。

ゾウの野生での暮らしやエコサイクルについて授業。

10月11日 八木山小学校と合同授業。堆肥作りやかぼちゃケーキ作りの紹介。

(2) 現職学校教員への研修（宮城教育大学連携事業）

7月24日 教員免許状更新講習「動物園実習の企画と実践」(幼稚園・小学校教諭)

8月9日 教員免許状更新講習「動物園で学ぶ動物の飼育と観察」(中学理科・高校生物教諭)

(3) メダカの増殖保全事業（宮城教育大学連携事業）

宮城教育大学が東日本大震災の津波被害を受けた仙台市沿岸部のメダカを保護していたことから、八木山動物公園および有志市民の里親と協力してメダカを増やし、元の場所へ復元させることを目的とした保全事業。

6月8日 八木山動物公園でメダカの里親募集イベント「メダカを育てよう！」を開催

6月29日、8月26日、10月8日 園内メダカ池のメダカの生息数調査を実施

7月 里親のメダカ飼育総数および、今後の里親登録の継続希望の調査を実施

12月14日 八木山動物公園でメダカの里親交流集会を開催

★令和元年度までの実績：里親227組(学校6校、他施設4)



「ゾウ糞エコサイクル事業」
八木山小学校での授業の様子



「メダカの増殖保全事業」
里親募集イベントの様子